

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立済美小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒630-8325

奈良県奈良市西木辻町5-2

E-mail seibi-e@naracity.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 232名 女子 223名 合計 455名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、世界遺産学習を教育課程に位置付け、低学年より系統的な学習を積み重ねてきた。本校の近隣には、世界遺産「古都奈良の文化財」に含まれる元興寺や興福寺がある。それを活かし、地域に残る「人・もの・こと」を題材として生活科や総合的な学習の時間を中心に、いろいろな場面で世界遺産学習を展開している。これは、様々な視点から地域について自ら調べ、学び、考える学習を積み重ねることで、地域に誇りと愛着がもてるのではないかと考えているからである。そのため、低学年から空間も内容も同心円的に広がるような、地域について学び続けるカリキュラムをつくっている。

まず、1・2年生の生活科において、済美のまちのよさを感じ、そこに住む人たちのやさしさに触れることで『済美のまちに親しむ』。

さらに、3年生では、校区の様子を社会科で学習をしたり、総合的な学習の時間では奈良町について学習をしたりしている。また、4年生では、四季を通じて、奈良公園の自然を観察したり、地域の発展に尽くした人を調べたり発信したりする活動などを通じて、『済美のまち・奈良のまちを見つめる』。

そして、5年生では、世界遺産見学や世界遺産を守るためにできることを考える学習を行っている。また、6年生での歴史学習をふまえた地域の遺産を探る学習

などを通して『済美のまち・奈良のまちについて考える』。
 このように、低学年から、空間も内容も同心円的な広がりをもって地域について
 学び続けるカリキュラムをつくっている。特に、高学年では、毎年新たな教材を
 開発しながら取り組んでいる。

※活動内容詳細、写真は別紙添付

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> ② 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> ① 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> ② 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

奈良大好き世界遺産学習

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は、世界遺産学習を教育課程に位置付け、低学年より系統的な学習を積み重ねてきた。本校の近隣には、世界遺産「古都奈良の文化財」に含まれる元興寺や興福寺がある。それを活かし、地域に残る「人・もの・こと」を題材として生活科や総合的な学習の時間を中心に、いろいろな場面で世界遺産学習を展開している。これは、様々な視点から地域について自ら調べ、学び、考える学習を積み重ねることで、地域に誇りと愛着がもてるのではないかと考えているからである。そのため、低学年から空間も内容も同心円的に広がるような、地域について学び続けるカリキュラムをつくっている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

1・2年生の生活科において、『済美のまちに親しむ』。
さらに、3年生では、校区の様子を社会科で学習をしたり、総合的な学習の時間では奈良町について学習をしたりしている。また、4年生では『済美のまち・奈良のまちを見つめる』。そして、5年生では、世界遺産見学や世界遺産を守るためにできることを考える学習を行っている。6年生での歴史学習をふまえた地域の遺産を探る学習などを通して『済美のまち・奈良のまちについて考える』。このように、地域人材や地域教材を生かした教育活動を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

アンケート調査の結果「(子どもが)せいびの町や奈良の町が好きになった」という項目では、「そう思う」が児童：90%、保護者：99%という高い結果となった。積極的に地域と関わりながらよりよく生きようとする意欲を高めることができた。また、様々な方々と共に関わりながら学習することで、自分たちの地域に誇りと愛着をもつことができた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

奈良教育大学ESDコンソーシアムやESD学会において実践発表を行い、そこから見えてきた課題を次年度へ引き継ぎ、繋げていく。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

奈良教育大学
日米教育委員会
ACCU

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ESD日米教員交流プログラムにおいて繋がることのできた米国の学校と交流を行っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

積極的に地域と関わりながらよりよく生きようとする意欲を高めることができた。また、様々な方々と共に関わりながら学習することで、自分たちの地域に誇りと愛着をもつことができた。
また、地域の方々や保護者の方々に、昔遊びを教えてもらったり、町たんけんやアンケート調査、投票作業などに協力していただいたりすることで、地域の方々や保護者の方々にも一緒に「奈良のよさ」について考え、見つけなおすことができた。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- 1年「なかよしさんぽ」（生活科）
隣接する幼稚園とも連携し、校区や奈良公園へ出かけ、四季の移り変わりを感じる。
- 2年「わくわくさんぽ せいびの町」（生活科）
身近な地域の施設や店などを探検し、そこで働く人達に話を聞いたり教えてもらったりして触れ合うことで、地域の人々のやさしさを感じる。
- 3年「もっと知ろうよ せいびの町を」（社会科・総合）
校区探検から様々な公共施設があることや、多くの観光客が訪れる奈良町があることを知り、それらのよさを理解する。
- 4年「奈良公園のひみつをさぐろう」（理科・総合）
四季にわたって奈良公園を訪れ、その自然の不思議さや奈良の鹿について観察したり調べたりする。
- 5年「奈良の世界遺産を守るということは…」（総合）
世界遺産をはじめとする多くの奈良の文化財を次の世代へ大切に残し繋いでいく主体は、自分たちであることに気付く。
- 6年「未来に残したい美しい奈良の風景を見つけよう」（社会・総合）
江戸時代にあった「南都八景」を調べることを手がかりに、現代の「新南都八景」を選定し、広く発信していく。